

県 広 報

とやま

TOYAMA PREFECTURAL REPORT





INTERVIEW

ひとアズとやま

ラリーで世界の頂点を

ラリードライバー 神岡 政夫さん

「子どもの頃から車が好きで、免許を取ってからは毎日のように家の近くの山道を走らせていましたね」と語るのは、WRC（世界ラリー選手権）で活躍している井波町出身の神岡政夫さん。十九歳で国内ラリーへの参戦を開始した神岡さんは、翌年いきなり山梨県でのウインターラリーで優勝。「この優勝が、僕の進路を決定づけたんです」。その後、全日本ラリー選手権で三度のシリーズチャンピオンに輝き、平成四年から国外ラリーに挑戦開始。平成五年からは自動車ラリーの最高峰であるWRCにステップアップし、世界の強豪と闘ってきました。そして昨年、ラリーの本場ヨーロッパでも伝統を誇る英国RACラリーで二位となり、一躍その名をとどろかせました。

RACラリー当日は予想外の大雪。「僕は富山に住んでいますが雪には自信がありました、ダート（非舗装）やアイスバーンが絡んでくるともう大変。とてもハードなレースでしたね」。また、上位のドライバーのほとんどがワークスでの参戦なのに対し、神岡さんはプライベート参戦。「最新のワークス・マシンに比べ、どうしても性能が劣ります。また、レース直前の路面状況の下見などは、資金力に乏しいプライベート参戦チームにとっては不可能なんです。そんなハンデを乗り越え、悪条件を卓越したテクニックで切り抜けた神岡さんは、ついに日本人として初めて表彰台に立ちました。

三年前、高岡市内にカーショップ「プロジェクトK」をオープンし、オフの期間中は店のオーナーとして多忙な毎日を送っている神岡さん。「競技者だけでなく、誰でも気軽に利用できるような店づくりを心がけています」。

さて、今年ポルトガル、ギリシャ、イギリスの三戦に絞って出場を予定。「昨年の結果に満足せずに、もっと上を見つめていきたいですね」。世界の頂点を目指して、神岡さんの新たな挑戦がいま始まります。

※ワークス…自動車メーカーのチーム。豊富な資金力と高度な技術力を持つ。



4

CONTENTS

4月号もくじ

とやま遊学感 富山県情報工房	1
ひとアズとやま ラリードライバー 神岡政夫さん	2
特集 夢と希望にあふれた 県づくりをめざして 平成九年度富山県予算	8
PINUPPTOYAMA 写真/谷川昭夫(富山県写真家協会会員) 詩/山本哲也(富山現代詩人会会員)	10
ふるさとみてある記(上市町)	12
① 西田美術館	13
② 上市町こどもの城	14
③ 大岩山日石寺のメグスリ茶	16
エッセイ/柳原正年 (余暇開発士・自遊塾副座長)	17
富山県の主要プロジェクト 富山県総合福祉会館(仮称) 整備事業	18
県からのお知らせ	19
暮らしのアドバイス	20
とやまの祭り記 高砂山願念坊祭り (大沢野町)	21



▲パソコンやワープロ教室は随時開催



▲ハイビジョン映像も楽しめます。



▼名前をポップシールにしてみました。

パソコン活用の夢が広がる体験空間

—富山県情報工房—

レポーター：山田 栄さん(富山大学)
(表紙の人)

今回私が訪れた富山県情報工房は、県民の皆さんが気軽にコンピューターなどの情報機器に触れ、その利用技術を身につけることができる施設です。さっそく、情報工房の大井さんに《体験》《創作》《交流》《研修》の四つのゾーンからなる館内を案内してもらいました。

《体験ゾーン》は、パソコンを使いこなすためのヒントの宝庫。ここでは、占いや健康・献立評価、衣型紙作成などの身近なテーマに沿って、初心者の方でも気軽にパソコン体験ができます。

《創作ゾーン》は、文字通りパソコンを使っての創作活動が楽しめる空間です。私は、試しに水彩画に挑戦。桜をイメージして描いてみましたが(右イラスト)、初めてにしては色づかいが上手いと思いませんか。このほか、コンピュータ・グラフィックスやコンピュータ・ミュージックの創作など、パソコン活用の夢がどんどんひろがります。

《交流ゾーン》にはハイビジョンシステムを設置。鮮やかな映像をじっくり鑑賞できます。また、「研修ゾーン」では、パソコンやワープロを始める方を対象とした講座が随時開催されているそうです。

最近では、一般家庭にもパソコンなどがどんどん普及し、これからの生活の必需品になりつつありますが、私も今回の訪問で、本格的に始める意欲が沸いてきました。皆さんも、富山県情報工房でのいろいろな体験をきっかけに、新たなライフスタイルを創造してみてください。



▲パソコン水彩画と、その作品(上)



弾いたメロディーがすぐさま音符に▶

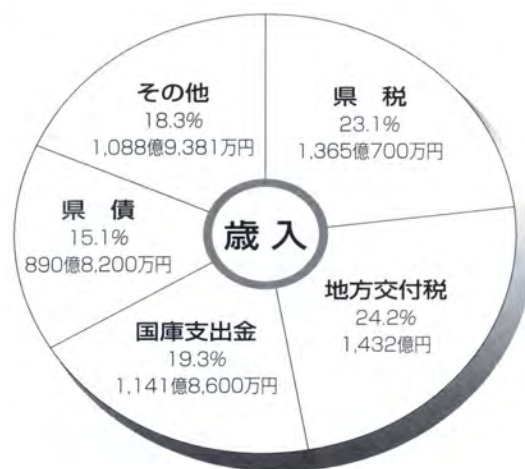
場所	富山市高田527番地 (富山商業高校隣)
休館日	月曜日(祝日の場合は翌日)
入館料	無料(創造ゾーンは一部有料)
電話	☎ 0764(44)7887

夢と希望にあふれた 県づくりをめざして

～平成9年度富山県予算～



平成九年度 一般会計歳入・歳出予算額 5918億6881万円



平成九年度の富山県予算は、厳しい財政環境のもとで財政の健全化を推進することを基本とし、従来にも増して行財政改革に積極的に取り組むとともに、新県民総合計画に基づき、富山県の発展と県民福祉の向上を図ることを基本に、厳しい中においても県民が夢と希望をもてるよう編成しました。

第一に、県民のニーズの高い施策を積極的に進めることとし、県民福祉条例に基づいて福祉のまちづくりを総合的に推進するほか、福祉施設の整備や在宅福祉の拡充、心の健康づくりの推進などに取り組みます。また、県民文化条例に基づき文化の県づくりを進めるとともに、ボランティア活動の支援、活力ある中小企業の育成、魅力ある農業農村の振興、環境対策、防災対策などに取り組み、「住みよい県」から「住みたい県」をめざしていきます。

第二に、二十一世紀に向けた県づくりを積極的に進めることとし、国際健康プラザ、総合福祉会館、全県域下水道化構想などの主要プロジェクトを着実に推進します。また、環日本海施策に積極的に取り組むほか、北陸新幹線をはじめとする本県の発展基盤の充実に努めるなど、二十一世紀を展望した諸施策を進め、「環日本海時代の中核拠点」をめざしていきます。

以下、「明日を拓く人づくり」、「魅力ある郷土づくり」、「活力ある産業づくり」の三大政策に沿って、主な事業を紹介します。

特集/夢と希望にあふれた 県づくりをめざして

～平成9年度富山県予算～

明日を拓く 人づくり

(2076億
4936万円)

一、健康・福祉の増進 (899億6535万円)

▼総合健康・福祉社会の確立

県民福祉条例に基づき、福祉基本計画を策定するとともに、高齢者や障害者等に配慮した生活関連施設の整備基準を定めます。また、県有施設の整備や企業等に対する福祉の環境づくり資金の創設など、福祉のまちづくりを総合的に進めます。

さらに、地域総合福祉を推進するための中核施設、総合福祉会館の建設に着手するとともに、福祉に関する情報提供システムの整備を進めます。

▼生活のなかの健康づくり

国際健康プラザの施設整備や展示製作に着手します。また、こころの健康プランを策定するほか、精神保健福祉センターを心の健康センターとして整備拡充し、ストレス対策事業やデイケア事業を実施します。さらに、精神障害者の社会復帰モデル施設「ゆりの木の里」について引き続き支援します。



▲西部総合体育館イメージ図

▼スポーツ・レクリエーションの振興

2000年とやま国体に向け、開会式等の式典および会場の基本計画を策定するほか、PRビデオやイメージソングを制作します。また、西部総合体育館(仮称)や福光射撃場、カヌー場などの施設整備を進めます。

▼社会福祉の充実

ホームヘルプサービス事業やショートステイ事業等を拡充し、在宅福祉の充実に努めます。また、新たに公民館などを利用するデイサービス事業や地域住民団体が行うデイサービス事業に助成するほか、特別養護老人ホームやケアハウスなどの福祉施設の整備を積極的に進めます。

厚生連高岡病院に救命救急センターを設置

地域保健サービス拠点



点となる市町村保健センターの整備に対し助成

二、生涯学習の推進 (1073億9470万円)

▼生涯学習基盤の整備

県立図書館の増改築や資料センターの整備に着手するほか、国民宿舎立山荘の改装・増築を行います。

▼学校教育の充実

上市高校に総合学科を開設するほか、特別コースの設置校を増やすなど、特色ある学校づくりを推進します。また、いじめや不登校等の問題に対処するためスーパーバイザーを活用するなど、教育相談・指導を充実します。いじめや不登校等の問題に対処するためスーパーバイザーを活用するなど、教育相談・指導を充実します。いじめや不登校等の問題に対処するためスーパーバイザーを活用するなど、教育相談・指導を充実します。



三、科学・文化の振興 (45億5033万円)

▼科学・文化を担う人の育成

県立大学において、平成十年四月に大学院生物工学専攻博士課程を開設するとともに、短期大学部にお

▼魅力ある都市の形成
大手町における国際会議場等の機能を持つ複合型都市拠点施設の整備に対し支援します。また、水と緑の県づくりを推進するための調査を実施します。
・県民緑化祭の実施、グリーンバスの運行など、花と緑に親しむ機会を充実

▼上空から見たカナルパーク（仮称）



▼いざよいの県土づくり
カナルパーク（仮称）や五福公園などの都市公園を整備するほか、ふるさと環境整備事業により自然公園を整備するなど、全県域公園化を推進します。

二、魅力ある地域づくり
(277億3015万円)

供するとともに、富山県の住みよさを全国に発信します。
・環境基本条例に基づき環境基本計画を策定
・ごみ減量化・リサイクル推進計画を策定

▼観光拠点としての期待が高まる桂湖



▼全県域下水道化の推進
神通川左岸流域下水道の一部共用を開始するほか、農村下水道の整備や合併処理浄化槽の普及を図るなど、全県域下水道化構想を推進します。

三、県土の保全と活用
(990億7024万円)

・新大長谷発電所の建設に着手
・桂湖周辺にビジターセンター等を整備

緑のダイヤモンド計画の一環として、新しい立山自然保護センターの実施設計に取り組むほか、立山カルデラ砂防博物館（仮称）の建設を進めます。また、平成十年の第四十回自然公園大会の開催に向け、会場整備などの準備を進めます。

四、交通・情報通信体系の整備
(684億917万円)

▼広域交通体系の整備
北陸新幹線の石動・金沢間および糸魚川・魚津間の



▼情報通信基盤の強化

インターネットを活用した教育が行えるように、総合教育センターに教育専用の接続拠点を設置し、計画的にネットワークを整備します。また、全国マルチメディア祭の成果を生かし、とやまマルチメディア祭を開催するなど、地域の情報化を進めます。

環日本海交流の拠点をめざす富山空港▼



建設工事を促進するほか、北陸自動車道、東海北陸自動車道、能越自動車道について、引き続き整備の促進を図ります。
富山空港については、拡充整備構想の具体化に向けて基本調査に取り組むほか、大型ジェット機の乗り入れに必要な空港施設の改修を行います。



る生物資源専攻科および地域環境工学専攻科を開設することとし、諸準備を進めます。
▼文化のふるさとづくり
県民文化条例に基づき県民文化計画を策定するほか、国民文化祭の成果を生かして県民文化祭を開催します。また、文化ホールネットワーク事業や文化ボランティアの育成に対する支援を充実するほか、水墨画を中心とする新美術館の建設に着手します。

四、若者と女性の力を社会に
(24億4701万円)

▼若い力の発揮
行動する若者のネットワークづくりや地域づくりの実践活動を支援します。また、「200X年県民が燃えるプログラム事業」における具体的プログラム案づくりを支援します。
さらに、国際感覚豊かな人材を育成す



・五箇山の合掌造り集落の家屋の修景事業や営場の整備等に対し助成
・恐竜足跡化石の保存方策の検討

五、長寿・余暇社会への対応
(32億9195万円)

▼女性の能力の発揮
富山県女性総合センターを開館し、各種講座や相談事業等を実施するほか、改訂した女性プランに基づき各種の施策を展開していきます。
▼長寿を支えるしくみづくり
いきいき長寿財団の事業や老人クラブ活動を支援するほか、高齢者のいきがいと社会参加メニュー事業を実施するなど、生きがいと健康づくり施策を推進します。



▼ボランティア活動の支援
ボランティア活動を振興するため、ボランティア総合支援センターを設立し、各種ボランティアの研修等の活動を支援します。

魅力ある郷土づくり
(2397億8257万円)

一、快適な暮らしの実現
(432億5385万円)

▼生活の安定と安全の確保
自主防災組織や災害救助ボランティアの育成に取り組むほか、災害時に拠点となる公共施設の耐震調査や補強工事を実施します。また、防災対策の中核となる防災拠点施設の整備について、基本構想の策定に取り組みます。
▼住宅の充実
十月に富山ハウジングフェアを開催し、ゆとりある快適な住まいの情報提供



五、国際化時代への対応 (13億1915万円)

▼国際交流・国際協力の推進

環日本海地域における環境保全や対岸地域への環境協力を進めるため、環日本海環境協力センター(仮称)を設立するほか、環境問題に関する国際会議として、第一回北西太平洋海洋汚染防止フォーラムおよび第一回環日本海環境自治体サミットを開催します。
また、ロシア沿海地方との友好提携が今年で五周年を迎えることから、記念事業を実施するとともに、引き続き観光の振興に協力します。

活力ある 産業づくり

1139億
5042万円

一、新世紀への産業展開 (15億8960万円)

▼頭脳集積とやまの確立

本県の商工業等の産業構造や振興施策についての基



▲2月に開催されたベンチャープラザ中部'97
本年度は本県独自に開催予定

支援するなど、配置業の近代化を支援します。

四、商業・サービス業の 振興 (30億9162万円)

▼商業の振興

商店街における駐車場対策のモデル事業に助成するとともに、インターネットを活用した商品情報の提供事業を支援します。

▼観光・交流 型産業の振興



いきいき富山観

本的な方向を示す新しい産業ビジョンの策定に取り組みます。また、高岡オフィスパークの整備を促進するとともに、その中核施設となる産業高度化センターの基本設計を行います。

工業技術センターについては、七月に完成する生活工学研究所において、時代のニーズに応える生活関連技術の研究に取り組みます。また、デザイン分野の支援拠点として、とやまデザインセンター(仮称)の設計等を進めます。



▲高岡オフィスパークイメージ図

二、農林水産業の振興 (620億6799万円)

▼たくましく魅力ある農業の確立

集落営農組織の育成や農作業受託センターの設置を支援するとともに、農地の利用集積による経営規模拡大に助成します。また、新規就農者に対する制度資金を活用するなど、担い手の確保育成対策を推進します。さらに、広域連携型の中山間地域総合整備事業を

光キャンペーンを充実するほか、観光客誘致のための観光振興対策をとりまとめ、観光モデルルートの普及に努めます。
また、自然や野生動物植物をテーマとしたジャパン・ワイルドライフ・フェスティバルの開催を支援するとともに、首都圏でのラジオ番組の活用など、イメージアップを図ります。

五、雇用と勤労者福祉 (33億4647万円)

▼雇用の安定

女子学生など新規卒業者の就職支援対策を推進するほか、中高年齢者の再就職や定年後の継続雇用の促進を図ります。また、育児・介護休業法の普及啓発を行うとともに、事業所内保育施設の設置、運営に助成します。
民間の認定職業能力開発校に対する助成
勤労者総合福祉センターの運営に対する支援



▲富山勤労者総合福祉センター「とやま自遊館」

施するなど、中山間地域の振興に努めます。



▼活力ある林業の展開

森林公社の林業機械化チームの育成や高性能林業機械の導入に助成するほか、林業人づくり基金の拡充を支援するなど、担い手の育成に努めます。

▼資源をばぐむ水産業の展開

水産試験場の調査船「立山丸」の代船建造に着手するほか、漁獲量を把握するオンラインシステムを整備するなど、資源管理型漁業を推進します。

三、工業の振興 (438億5473万円)

▼中小企業・地場産業の振興

ベンチャー企業に対する融資制度の充実等により、中小企業の新分野への進出や新産業を支援します。また、地域産業対策資金等の制度融資や中小企業高度化資金等を確保し、中小企業の体質強化や高度化を図ります。さらに、配置業の共同物流センターの整備を

総合政策の 推進

1259億
1221万円

▼計画県政・総合行政の推進

新富山県民総合計画の後期事業計画(平成八年度(十二年度)について適切な進捗管理を行い、総合的、計画的な行政を推進します。

▼行財政改革、定数等

知事を本部長とする行財政改革推進本部を設置し、中長期的な課題等についても検討を進めるなど、従来にも増して行財政改革を積極的に進めます。
職員定数は、知事部局職員および警察職員については据え置き、教職員については児童生徒数の減少に伴い百二十人減員します。

このほか、住民生活に密接な事務について市町村への権限移譲をすすめるとともに、国において地方分権推進計画が早急に策定されるよう働きかけるなど、地方集権を推進します。

二〇〇〇年国体準備局を二〇〇〇年国体局に改組
・農林水産部の予算、人事、事業等の執行管理体制を充実・強化するため、同部に企画管理課を設置
・生活環境部県民生活課にボランティア係を設置
・県庁情報通信網(LAN)の拡充による事務の効率化
・警察総合情報通信網の整備

桜並木の下

目のまえで女の子たちが

花びらを集めて

駆け合っている

花びらは妖妖と舞い紛う

ぬるーい昼なかば

天が描く絵には

ふんわりとした幸せが漂う

いつか出会った

なにげない点景を

思い出しているのだが――

いま 向うに見えている

あの堤の 桜並木のもとにも

きつと あるだろう

こんな長閑春景が

PIN UP
TOYAMA
ピンナップとやま

上市町

◎上市町の概要
北アルプスの霊峰剣岳がそびえ立ち、その登山基地である馬場島には、キャンプ場も整った剣岳青少年旅行村が開かれている。環境庁の名水百選に選ばれた「穴の谷の霊水」をはじめ湧水地が多く、県内外から多くの人々が訪れる。また、大岩眼目県定公園には、大岩山日石寺や眼目山立山寺があり、多くの信者や避暑客を集めている。



▲廣田 功さん
二十世紀を担う子どもたちが、遊びや触れあいを通じて豊かな心を育むための施設が「上市町こどもの城」だ。

上市町こどもの城

「子どもたちには楽しい遊び場として、また、乳幼児を持つお母さんたちには研修や情報交換の場として利用されています」と語るのは、館長の廣田功さん。木造の温かみを取り入れた同施設には、トランポリンやボールゲームが楽しめる「つどいの部屋」や絵本を読める「知識の部屋」などがあるほか、子ども向けに茶道やパソコン、エアロビクスなどのクラブが開設されている。また、子育て中の母親を対象に講演会や乳幼児教室が開催され、交流の場にもなっている。

利用者は、オープンから二年足らずで六万人を超えたが、もっと多くの人に利用してもらいたいという廣田さん。「特に、離れた地域に住む子どもたちにも利用してもらえるように、親子で楽しめるイベントへの参加を呼びかけています。それから、町民の皆さんには、料理教室や将棋教室などのボランティア講師として、特技を發揮してもらいたいですね。」



異国文化の香り漂う美術館

西田美術館

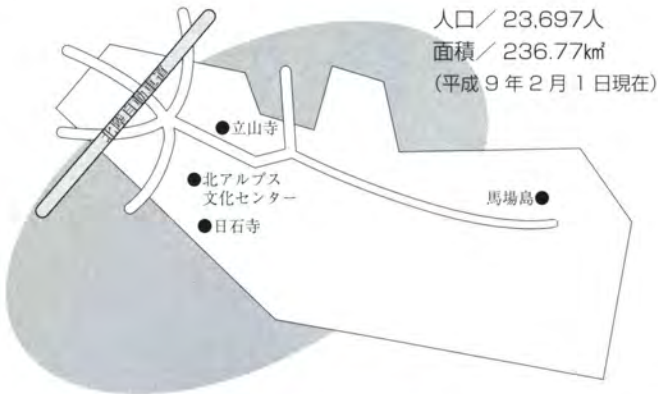


西田美術館は、富士化学工業株式会社がメセナ活動として運営している私設美術館である。「作品は全て、会長で美術館長でもある西田安正氏が四十年かけて収集したもので、副館長の高木正一さん。この美術館のテーマは、「自然と宗教と芸術の一大調和」。四つの展示室には、約四五〇点の作品が常設展示されている。なかでも圧巻なのは、「シルクロー

ドの遺産」をテーマとした第一展示室。中国、ガンダラ、ペルシャ、エジプトの古代陶磁器など約二百点が見る者を圧倒する。「漢時代の楼閣やペルシャの壺、ピラミッドから出土したと思われる彫像など貴重な文化遺産ばかりです」。また、他の展示室でも、ギリシャ正教の聖画（イコン）など、国内では極めて珍しい作品が並ぶ。「美術品だけでなく、窓から望む美しい剣岳の姿も堪能していただきたいですね」と高木さん。四月二十六日からは、画家、般若一郎を、そして秋には、上市町出身の画家、吉田公均を取り上げる企画展を予定している。皆さんも気軽に訪れ、異国の文化や日本の独自性あふれる作品に触れてみてはいかがでしょうか。

▲高木正一さん
市町出身の画家、吉田公均を取り上げる企画展を予定している。皆さんも気軽に訪れ、異国の文化や日本の独自性あふれる作品に触れてみてはいかがでしょうか。

※芸術・文化の擁護活動



人口 / 23,697人
面積 / 236.77km²
(平成9年2月1日現在)



▲授洗者聖ヨハネのイコン



▲青釉黒色彩文大壺

目にやさしいメグスリ茶を一杯

大岩山日石寺のメグスリ茶

「大岩の不動さん」で有名な大岩山日石寺。眼病に霊験あらたかな寺として知られているが、ここで休日や法要の日に振舞われる「メグスリ茶」が訪れる人に好評だ。

「メグスリ茶は、メグスリノキの葉や小枝を自然乾燥させ、煎じたものなんです」と語るのは、日石寺住職夫人の中田真法さん。メグスリノキは、別名「千里眼の木」ともい、かすみ目などの眼病に効能があるとされている。煎じた汁は飲用するほか、名前のとおり「目薬」のように点眼して使用する。

「この木のことは、十五年前、星薬科大学の伊澤一男名誉教授の著書を読んで知りました」と中田さん。その後、直接先生と相談しながら、敷地内に五百本の苗木を植樹。「根を傷めるカミキリムシの防除など、育樹は苦勞が多いんです」と。それに、噂を聞いてこっそり枝を折っていく人もいて、中田さんたちの頭を悩ませている。

このお茶を実際に飲んでみると、意外にさっぱりとした味わい。「皆さんに召し上がっていただけて日石寺の名物にしていきたいですね」と中田さん。日頃目に疲れを感じている方は、参拝の折にぜひ一服試してみてもいいかもしれません。



▲メグスリノキ



▲中田真法さん



▲メグスリノキの葉とメグスリ茶を煎じる巨大な釜



地域総合福祉の推進拠点

富山県総合福祉会館(仮称)の建設

今日、急速な少子・高齢化や核家族化の進展など、福祉を取り巻く環境が複雑に変化する中で、県民の福祉に対するニーズは増大し、かつ多様化、高度化しています。

このため、住民と行政が一体となって地域総合福祉を推進する拠点として、現在、県が整備を進めているのが、富山県総合福祉会館(仮称)です。

会館の基本理念

富山県総合福祉会館(仮称)は、次の3つの基本理念のもとに整備されます。

① 参加型福祉活動推進の拠点

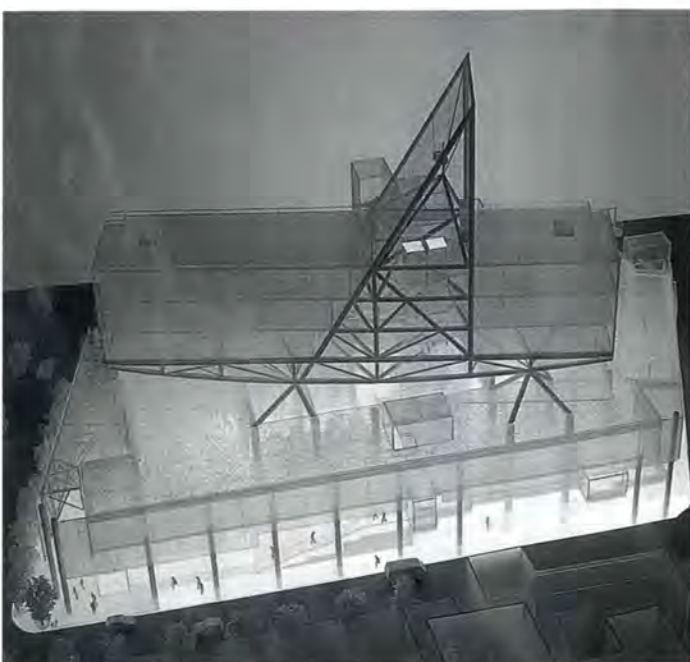
県民みんなが地域社会の一員として福祉活動に積極的に参画し、地域社会をともに支え、ともに生きることによって生みだされる、ぬくもりのある地域基盤の整備を進めるための拠点。

② 福祉人材養成の拠点

質の高い人材の養成・確保など、福祉を支える人的基盤の整備を進めるための拠点。

③ 福祉情報発信の拠点

県民の福祉ニーズを受信し、福祉機器情報や介護知識、技術など最新の福祉情報を県民に発信する福祉情報基盤の整備を進めるための拠点。



▲富山県総合福祉会館(仮称)完成予想模型

会館の施設内容

この会館は、次のような機能を持った施設内容となっています。

① 参加型福祉活動推進の機能

- ・ボランティア活動の振興
ボランティアセンター、活動交流室など
- ・民間活動の振興・連絡調整
福祉団体事務室、会議(研修)室など
- ・県民とのふれあいと交流
県民福祉ホール、交流サロン、高齢者生きがい創造センターなど

② 福祉人材養成の機能

- ・研修・研究
福祉カレッジ、介護実習・普及センター
- ・人材バンク
健康・福祉人材センター

③ 福祉情報発信の機能

- ・福祉等相談
総合相談センター
- ・福祉情報の提供・利用、学習
福祉情報センター、福祉図書室、福祉機器・住宅改造モデル展示場など

建設の概要

- ① 建設場所
富山市安住町5番18号(済生会富山病院跡地)
- ② 建設規模
延床面積 約12,000㎡(地上7階、地下2階建)
- ③ 建設費
56億8千万円
- ④ 整備目標
今年度秋に着手し、平成11年度の開館を目標に整備します。

たかが桃太郎、されど桃太郎

～桃太郎の研究から判った現代社会の生き方～

余暇生活開発士・桃太郎歴史発見研究会会長

柳原 正年

ESSAY

桃太郎の研究を始めて今年で十年目を迎える。転勤族のため岡山に住んだのがきっかけで、桃太郎の魅力にとりつかれた。土日の寸暇を惜しみ、桃太郎に関する資料を集めた。「ももたろさん、ももたろさん」と愛唱される桃太郎はどこから来たのだろうか。

桃太郎にはいくつもの謎がある。生まれはどこか。実在のモデルはだれか。退治した鬼は何者か。お供の「イヌ、サル、キジ」にはどんな意味があるのか。そんな事を真剣に考えるとますます深みにはまった。桃太郎の謎を追っかけて行くうち見えてきたのは、桃太郎物語に託された「人間の生き方論」である。日本人のほとんどは、幼児期に「桃太郎物語」を父や母の口から聞いたり、絵本を読んだりした経験を持っている。親は子供にたくましく成長してほしいと願っていた。桃太郎の昔話は、中世から近世にかけて成立したと言われている。文献には元禄(一六八八年～一七〇四年)年間に、赤本「桃太郎」として出現している。しかし説話そのものはもっと早く、岡山の桃太郎のように、三世紀から六世紀にかけての日本建国の歴史からわむものもある。桃太郎は桃の中から生まれたとばかり思っていたが、江戸時代は「桃を食べたおばあさん、おじいさんが若返り桃太郎を生んだ」という回春説であった。そして、明治以降は

「桃から生まれた」という果成説が主流となる。

桃太郎を祭る三大神社は、岡山県の吉備津神社と香川県高松市の桃太郎神社、それに愛知県犬山市の桃太郎神社である。それぞれが桃太郎の誕生にまつわる故事を伝えている。

桃太郎物語の中の動物やきび団子や日本一の旗は「人間が幸福に生きるための要素」を表現している。「イヌ」「鬼」「道徳」「サル」「智」「知恵」「キジ」「勇」「勇気」「桃」「健康」「家族」「きび団子」「経済基盤」「日本」「自分の長所・自信」「鬼」「自分の心の陰の部分」。さてそれでは、桃太郎の魅力とは何であろうか。昔話でたくましさと言えは金太郎である。ミステリーでは浦島太郎と竹取物語のかぐや姫なのだ。にもかかわらず桃太郎の人気の高いのは、人間くささと他にはない独特のキャラクターを持ち、われわれを引きつけているからだ。桃太郎の謎を解いていくうち、私たちにアクティブな生き方を解いていることがわかる。桃太郎が常に前を向いてあらゆる障害を切り開き前進している姿、それにわれわれはしびれるのである。

二十一世紀を目前に控え、日本人は目標を失い、自信も失っている。一昨年私は故郷の富山に戻った。そして県民カレッジ「自遊塾」に参加、県民教授として「桃太郎講座」を開講した。それは、日本一を掲げ前進する富山の姿と一致したからである。桃太郎の研究で判ったことは「本当の桃太郎は自分自身であり、しあわせ(桃太郎)はアクティブな行動から生まれる」という「人生の生き方」の知恵であった。



▲桃太郎歴史発見研究会の皆さん

県からのお知らせ

募集

県民カレッジ自遊塾の塾生募集

「仕事や家事以外の時間に継続的に交流したり、学んだりしたい」。そんな県民の皆さんの声に応え、県民カレッジでは今年も6月から「自遊塾」を開塾。ボランティアの県民教授を中心に、いろいろなテーマの講座が自主運営で進められます。

講座テーマ・ミステリーを楽しもう

- ・現代川柳入門
 - ・楽しく素敵にワインとお付き合い
 - ・アクティブ人生企画と知的余暇生活開発術
- ほか全17講座
- 募集期間 4月1日(火)～4月28日(月) (当日消印有効)
- 定員 1講座当たり20名程度 (多数の場合は抽選する場合あり)
- 対象 一般県民 (なかでも職業人)
- 申込方法 市町村の文化会館や公民館などにある塾生募集要項に添付してある受講申込書に必要事項を記入し、80円切手を添えて県民カレッジへ郵送 (一人一講座に限る)
- 受講料 資料代等 600円が必要。(その他、材料費など実費の必要な講座あり)
- 問合せ 〒930 富山市舟橋北町7-1
富山県生涯学習カレッジ学習企画課 自遊塾係
☎0764-41-8635 (内)222

呉羽の春の集い 参加者募集

いかだ乗り、きもだめし「月光ハイキング」、竹の子掘り、竹の子や山菜を材料とした料理づくりなどで楽しいひと時を過ごしませんか。親子での参加をお待ちしています。

日時 4月26日(土)午後1時～27日(日)午後2時

場所 呉羽少年自然の家

年金バリアフリー住宅融資のお知らせ

融資対象者
厚生年金保険または国民年金の加入者の方で、厚生年金保険もしくは国民年金の加入期間が3年以上ある方、または厚生年金保険と国民年金を合わせた加入期間が3年以上ある方。

融資対象となる住宅
新築住宅 (建て売り、マンションを含む)
住宅改良 (増改築含む)

住宅の基準
段差の解消、手すりの設置 (下地の補強含む)、車椅子が利用できる通行幅、介護に必要なスペース (浴室、トイレなど) ほか

融資限度額
最高2、640万円まで (介護機器割増、親族同居割増等を含む)

融資利率 (平成8年12月11日現在)
一般 (175平方メートル以下) 大型 (175平方メートル超)
一般貸付金 3・21% 一般貸付金 3・30%
特別貸付金 3・40% 特別貸付金 3・70%

返済期間 (最長) 木造住宅 25年 耐火構造 35年 住宅改良 15年

みなさんの相談窓口

- 県政について**
県民相談室 富山市新総曲輪1-7 (県庁内)
☎(0764)31-4111 (代)
31-3131 (県民相談電話)
FAX 44-3300 (県政ファクス)
- 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211 (総合庁舎内)
☎(0766)21-9411 (代)
- 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7 (総合庁舎内)
☎(0765)24-5311 (代)
- 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7 (総合庁舎内)
☎(0763)33-5151 (代)

- 物価ダイヤル**
物価に関する苦情や相談があればお気軽にお電話ください。☎(0120)16-7400 (県庁県民生活課内)
- 消費生活については**
消費生活センター
富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)33-3252
- 消費生活センター高岡支所
高岡市本丸町7-1 本丸会館内 ☎(0766)25-2777
- 交通事故については**
富山県交通事故相談所東別館1階
☎(0764)31-4111 内4400
- 相談110番**
家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
- シルバー110番**
高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター
富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110
- よい子の育児電話相談**
子育てに関して心配や悩みはありませんか。どんなことでもお気軽にお電話ください。
☎(0764)33-4150 (県庁生涯学習室内)

お知らせ

県民カレッジ高校開放講座のご案内

一般県民を対象に、4月から12月まで、県内の高校において、各校の特色を生かした園芸、伝統工芸、パソコン等の講座が開催されます。

開催校 入善高校・魚津工業高校・中央農業高校・雄峰高校・大門高校・高岡工業高校・志貴野高校・有磯高校・福野高校・小矢部園芸高校 (2講座)・福光高校・砺波女子高校

以上12校13講座

定員 各講座40人程度

講座時間数 20時間以上

問合せ テーマや募集期間など、詳細は各学校へお問い合わせください。

中央植物園催し物案内

日曜植物案内 (4月)
内容 テーマに沿って植物園の展示温室を案内していきます。今回は、高山植物を中心に解説します。

場所 富山県中央植物園 展示温室

日時 4月6日(日) 午前11時～12時

申込み 当日園内で受け付け。(入園者は誰でも参加できます。)

植物画講習会
内容 植物を科学的にかつ正確に描く植物画の講習を行います。

申込み・問合せ

最寄りの年金福祉事業団の業務を取り扱っている金融機関、または(社)富山県年金住宅福祉協会 (☎0764-22-1266)

地価公示 (UN)

3月25日に平成9年1月1日時点の公示地価が国土庁から公表されました。

これによると、富山県内においては、住宅地が横ばい、商業地が下落となっており、商業地は5年連続で下落しています。

地価公示制度は、都市計画区域内で標準的な土地 (標準地) を選定し、その正常な価格を毎年一回判定し公表するものです。この公示価格は、土地取引の目安としていただくことなどにより、適正な地価の形成に寄与することを目的としています。

県内には276の標準地がありますので、その価格など詳しいことをお知りになりたい方は、県庁水雪土地対策課 (☎0764-44-3131) または、各市町村役場へお問い合わせください。

立山博物館臨時休館のお知らせ

立山博物館では、展示館の燻蒸処理のため、左記の間、展示館・資料館・教習坊を臨時休館とします。

県からのホットニュース

- 見て、聞いて、ご意見をお寄せください。
- テレビ広報**
■チューリップテレビ 毎週日曜日 AM7:00～7:15 「ふるさとトーク」
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00～9:30 「112万人のひろばクイズ/フォーカス・イン」
- 北日本放送 毎週日曜日 AM11:00～11:30 「こんにちは富山県です」
4/6 いよいよスタート! 県政パス
4/13 我がまちふるさと自慢 ～宇奈月町～
4/20 みのもりある男女協同社会へ向けて
4/27 花ある暮らしで心も満開
- ラジオ放送**
■FMとやま「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでとどけます。
毎週月～金曜日 AM9:50～9:55
- 新聞広報**
■北日本、富山、読売、北陸中日、朝日、毎日
毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

平成9年 5月 街頭献血日程

日曜日	献血場所	時間
4日	北陸ジャスコ高岡店前	10:00～16:00
5日	高岡サティ前	10:00～16:00
9日	滑川市役所前	12:30～16:00
11日	魚津サンプラザ前	10:00～16:00
15日	入善町商工会館前	9:30～16:00
23日	福岡町役場前	9:30～11:30
25日	アブリオ前	10:00～16:00
31日	JR高岡駅前	10:00～16:00

※都合により変更する場合がありますので、当日の新聞・テレビの街頭献血案内等でご確認ください。

○**マリエとやま6階の献血ルーム**では、月曜日を除く毎日 (年末年始、マリエ休館日を除く) 献血を受け付けています。
受付時間 全血献血 10:00～12:30 14:00～18:00
成分献血 10:00～12:00 14:00～17:30

○**マリエ献血ルーム** (TEL0764-45-4500)
血液センター (TEL0764-51-5555)

啓発

マナーアップとやま 「守ろう交通ルール・高めよう交通マナー」

県民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全意識の高揚を図るとともに、交通ルールの遵守とマナーの向上を呼びかける「春の全国交通安全運動」が実施されます。

- スローガン 「安全は ゆずるやさしさ まつゆとり」
- 期間 4月6日(日)～4月15日(火)の10日間
- 重点 1. 高齢者と子供の交通事故防止
2. 若者の交通事故防止
3. シートベルト着用徹底

特別デー 「交通安全ふれあいの日」 4月7日(月)
「シートベルト着用徹底の日」 4月14日(月)

問合せ 県庁県民生活課 ☎0764-44-3130

日時 4月19日(土)～20日(日) 10時～16時
(2日連続で行います。)

場所 富山県中央植物園 研修室

講師 豊田路子 (植物画家・フェアリーリングの会会員) 岡田宗男 ()

定員 50名 (往復はがきで申し込み 先着順)

費用 500円程度 (画材費)

申込み・問合せ 富山県中央植物園
〒939-127 婦負郡婦中町上轡田42
☎0764-66-4187

いきいき富山観光キャンペーン'97スタート

4月1日から「いきいき富山観光キャンペーン'97」がスタートします。10月31日までの期間中は、県内各地で330の魅力あふれるイベントが盛りだくさん。なお、4月1日には「いきいき富山観光キャンペーン'97 オープニングキャンペーン」が県内の各主要駅で行われ、開幕を飾ります。

問合せ いきいき富山観光キャンペーン実施協議会
☎0764-41-7722

精神障害者社会復帰モデル施設 「ゆりの木の里」オープン

精神障害者のための社会復帰施設「ゆりの木の里」が、4月1日に一部オープンしました。

この施設は、製パン、クリーニング等の作業訓練、日常生活の支援や地域住民との交流、入居しての生活訓練などを行う5つの施設からなり、全国のモデルとなる精神障害者施設をめざしています。

なお、このたびオープンしたのは、5施設のうち通所授産施設、地域生活支援センターの2施設です。

場所 富山市五福10区 474番2
社会福祉法人富山県精神保健福祉協会
☎0764-25-0383
県庁健康課
☎0764-44-3223

なお、遙望館・まんだら遊苑は通常どおり開館 (苑) します。

臨時休館 4月7日(月)～11日(金)

問合せ 立山博物館 ☎0764-81-1216 (代)

とやまの祭事記

四月



踊りと曳山が町の春を彩る

高砂山願念坊祭り（大沢野町下大久保）

毎年四月の第二日曜日、大沢野町下大久保では、約二百年の歴史を刻む曳山と、戦国時代から約四百年の伝統を受け継ぐ願念坊踊りからなる「高砂山願念坊祭り」が行われる。

朝、山元の新宮を出発した高砂山（曳山）が天満宮に到着すると、境内では、かつて大沢野に咲き誇った黄菖蒲と同じ色の着物を着た女の子や、法被に身を包んだ男の子により願年坊踊りが始まる。三味線や太鼓、笛の音に合わせ風情あふれる踊りが披露されると、見物客からは大きな拍手が沸き起こる。その後、高砂山

は若連中に曳かれて各町内を練り回り、その先々でも子どもたちが踊りを披露。日が暮れると高砂山は提灯山と化し、祭りは最高潮に達していく。

そもそも願念坊踊りは、越中の門徒衆も参戦した石山合戦が終わった天正八年（一五八〇）、平和到来を喜び踊ったのが始まり。それが砺波方面からの開拓民によりこの地に伝えられたという。「手踊り」「たすき踊り」「竹踊り」の三つは、戦国時代の名残をくむ勇壮な踊り。また、一時期廃れていたこの祭りが復活した昭和五十一年に生まれたのが「和踊り」。円になって楽しく踊るのが特徴である。ご神体として高砂（尉と姥）を祀る曳山は、文久二年（一八六二）に八尾町から譲り受けたもの。江戸中期の作で、本体に施された彫刻は、当時の一流作家の手によるもので銘作である。

戦国の世から伝わる踊りと、江戸文化の粋を伝える曳山。人々はこの日、昔を偲びながらも郷土への思いを新たにす。



▲ 黄菖蒲色の着物に身を包んだ女の子たちによる竹踊り

暮らしの

アドバイス



注文した覚えのない写真集

Q 突然、注文した覚えのない天皇の写真集が送られてきました。訳が分からず、そのままにしておいたところ、三週間後に業者から四万円の請求書が届きました。どのように対処すればいいのでしょうか？

A 注文していない商品を一方的に送りつけ、代金を請求する商法を「ネガティブオプション」または「送りつけ商法」といいます。ネガティブオプションは、申し込みをしていない商品を送ってくるのですから、契約は不成立であり、代金支払の義務はありません。また、ネガティブオプションは、「訪問販売法等に関する法律」で規制されており、商品が到着した日から十四日間（業者に引き取りを請求した場合は七日間）を過ぎると、業者は商品の返還を求めることができなくなりま

す。つまり、消費者はこの期間を過ぎれば、自由に商品を処分することができるわけです。

ネガティブオプションは、これまでは福祉を名目に、腕力パー、ハンカチ、ペンダント、小銭入れなど比較的安価な商品を、代金の振込用紙とともに送りつける方法が主流で、商品送付後に再度代金を請求してくるという稀な事例は稀でした。しかし、最近は事例のように高額の商品が登場し、また返還請求期間が過ぎていくにもかかわらず、「返品がないので購入とみなす」と代金を請求してくる例が見受けられますのでご注意ください。

相談は、県消費生活センター、電話0764(32)9999、高岡支所、電話0766(25)2777

編集後記

★世界を舞台に活躍するリーダー俳優、神岡政夫さん。F1などはメーカーをあげて参戦するのに対し、ラリーの世界はプライベートでの参戦が意外に多いという。「なかには歯医者さんをやりながらという人もいます」と神岡さん。仕事をしながら世界と闘う。趣味人というには、あまりにスケールが大きい。(K)

★上市町といえば名水。我が家でも、以前は穴の谷霊水を求め、ポリタンクを家族交代で背負い、長い道のりを歩いたものだが、最近では、同町内でも道路際に築かれた名水に切り替えてしまった。微妙な味の違いと労苦の多少を秤にかけた結果だ。ただし、我が家の地下水よりも格段においしいことだけは確かなので、これからも、水を求めるのドライブが恒例行事として続くことは間違いない。(I)

★いよいよお花見の季節がやってきた。「万葉集」などにも多く歌われている桜は、日本人にとって国花であり最も春を感じさせてくれる親しみ深い花である。お花見の楽しみ方はいろいろあると思うが、宴会を主としている人も多いのでは？ 桜の下でただ宴会をするのではなく、もう少しメインの桜たちに目を向けてみてはいかがだろうか。(A)

今月号で掲載したPIN UP TOYAMAの写真を選定5名の方にワイド六ツ切(25×18センチ)でプレゼントします。希望される方は、官製ハガキで下記の様式でお申し込みください。平成9年5月23日消印有効です。

富山県広報課 写真プレゼント 4月号係あて	〒930
氏名	年齢
住所	
電話	
本誌を読んだ感想	

※石山合戦・本願寺御坊と織田信長との宗教戦争。天皇の勅で講和が結ばれるまで十二年間続いた。
（三年間にわたって連載した「とやまの祭事記」は今回をもって終了させていただきます。長い間の「愛読ありがとうございます」でした。）

富山県女性総合センター 「サンフォルテ」 オープニングイベント開催



富山県女性総合センター「サンフォルテ」が4月24日(木)、いよいよオープンします。オープンに合わせ、下記の日程でオープニングイベントを開催します。皆様のご来場をお待ちしております。(基調講演およびトークショーには入場整理券が必要です。)

4/24 (木) 午後1時30分～午後4時

記念式典・アトラクション 基調講演

講師 大宅映子 (ジャーナリスト)
演題 「女と男、今とこれから」



4/25 (金) 午後1時10分～午後2時40分

トークショー (※KNBラジオにて生中継)

ゲスト 田嶋陽子 (法政大学教授)
重原千賀子 (トータルキャリアネットワーク・ブルー代表)
テーマ「女と男の素敵な関係」



▼基調講演およびトークショーの応募方法

往復はがきの往信面に、①参加イベント名(基調講演、トークショーのいずれか)、②住所、③氏名(フリガナ)、④電話番号を、返信面には、住所、氏名を明記のうえ、ご応募ください。

▼応募締切り

4月10日(木)必着

▼応募・問合せ先

〒930 富山市湊入船町6-7
(財)富山県女性財団
☎ 0764(32)4500

▼その他

2歳以上から就学前のお子様の託児を行います。ご希望の方は、整理券申込みはがきの往信面に「託児希望」と明記のうえ、お子様の氏名、年齢を併記してください(定員20名)。

なお、企画参加イベントでの託児ご希望の方は、(財)富山県女性財団までお問い合わせ下さい。

4/25 (金) ~ 27 (日)

県内50余りのグループによる活動発表やセミナー、フォーラム、ミニコンサートほか多数の企画参加イベントを随時開催。

関連イベント (整理券不要)

●平成9年度
婦人週間「Duo」のつどい
日時/4月26日(土)
午後3時～午後5時
場所/とやま自遊館(サンフォルテ隣)ホール
講師/福島瑞穂(弁護士)
主催/富山県婦人週間のつどい実行委員会

